

平成30年 秋の火災予防運動 がいよいよ始まります!  
11月9日(金)~11月15日(木)



平成30年度東京消防庁防火標語

火の用心 一人一人の 心掛け

作者 向井 洋平さん (葛飾区在住)

そろそろお鍋が美味しい季節!  
カセットコンロは正しく使って楽しい食卓にしよう!



## エアゾール缶等による火災・事故を防ごう

エアゾール缶及び簡易型ガスコンロ燃料ボンベ(以下、「エアゾール缶等」という。)による火災は過去10年間で1,408件発生しています。

上記の中で平成29年中に火災に至った主な原因は、缶を廃棄する目的での「穴開け」で21件発生し、過去10年では260件に上ります。「穴開け」を行うと近くのガスこんろの炎等が、噴出した残存ガスに引火、出火します。

また、過去10年間のエアゾール缶等に起因する火災による死傷者数は585人で死者が3人、負傷者が582人となります。



※エアゾール缶とは…

可燃性ガスを噴射剤とした整髪剤、消臭剤等、簡易ガスこんろの燃料ボンベを合わせています。



火災・事故を防ぐためには…

## エアゾール缶の注意点

- ① 厨房器具や暖房器具といった高温になる場所の付近や、直射日光や湿気を避けて保存する。
- ② 厨房器具、暖房器具の付近では使用しない。またカセットボンベはカセットこんろ本体に正しく装着されていることを確認する。
- ③ 廃棄の際に江東区では、使用目的に沿って最後まで使い切ってから缶に穴をあけずに「中身の見える袋」に入れて、ほかの燃やさないごみとは分けてお出してください。

この時期、秋祭りにもよく使うね!



## 階段・廊下に物が置いていないか確認しよう！

どちらの階段・廊下が安全でしょうか？《写真を見比べて下さい》



火災が発生して避難しなければならないとき、階段・廊下に物がたくさん置かれていると危険です。平成13年の新宿区歌舞伎町のビル火災では、階段に置かれていた物が燃えて避難できなかったため、44名の尊い命が犠牲になりました。

もしもの時のために、階段・廊下に物を置かずに避難経路を確保しましょう。

## 電気ストーブ火災を防ごう

平成29年度の東京消防庁管内の火災件数は4,204件です。このうち電気製品等から出火した電気火災は1,152件で、そのうちで**最も多いのは電気ストーブ火災**の100件です。



### 電気ストーブ火災の特徴

- 電気をつけたまま就寝し、布団等に接触する火災が多い。
- 電気ストーブ上にあった衣類等が落下し、接触する火災が多い。
- 死者の70%を75歳以上の後期高齢者が占める。
- ぼやでも着衣着火、一酸化炭素中毒で亡くなる方が多い。

### 電気ストーブ火災を防ぐポイント

- 外出・寝る前には必ず電源を切る。
- ストーブの上に洗濯物を干さない。
- 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグやコードが傷んでいたら使用しない。
- 使用前に取扱説明書をよく読む。

## 平成30年城東消防署管内の災害状況

(平成30年10月末現在)

災害種別等	件数
火災件数	55件
火災による死者	0人
火災による傷者	8人
焼損床面積	374㎡
救助件数	358件
救急件数	13,050件
救急搬送件数	12,589人

10月中の主な火災		
発生日	発生場所	火災程度等
3日	北砂五丁目	その他 (たばこ)
5日	南砂五丁目	その他 (電線)
5日	亀戸二丁目	建物 (電気機器)
27日	北砂五丁目	建物 (電気機器)
28日	亀戸九丁目	建物 (電気機器)
29日	大島四丁目	建物 (ガステーブル)

お問合せ先	城東消防署	3637-0119	東砂出張所	3640-0119
	大島出張所	3636-0119	砂町出張所	3648-0119